

令和元年度 校内研修計画

山梨市立笛川小学校

1 学校課題

平成 28 年度に牧丘・三富の 4 つの小学校が統合して、4 年目を迎えた。

現在、創立当初懸念された人間関係の構築に関する問題は少なくなってきたものの、学習面ではいくつか課題が見られる。全国学力・学習状況調査や山梨県学力把握調査等の結果を考察すると、

- ・学習したことを生活の中で生かすこと
- ・授業の中で自分の考えを発表すること
- ・多角的な視点をもって課題に迫ること

等に特に課題が見られた。

2 研究主題

「学びの深まりを目指した授業づくり」

～ICT 機器などを活用した思考の可視化に焦点を当てて 2 年次～

3 主題設定の理由

統合による ICT 機器や環境の充実や市教委の ICT 教育研究指定による ICT 環境の充実により、ICT 機器を活用しようとする教員の意欲が高まった。昨年度は ICT 機器の活用を取り入れた教科や場面が増えていることを鑑み、ICT 機器などを媒介とした、思考の可視化による学びの深まりを研究してきた。

思考の可視化による学びの深まりを支える一つに、自他を認め合う学級づくりも重要になる。思考の可視化には自身の考え等をまずはもつこと、次に表現することが必要となる。これまでの研究成果として、ICT 機器を学習の道具の一つとして活用したことで学習への意欲が高められたこと、多様な考え方に触れられたことなどの成果があったことは明らかである。しかし、その成果が学びの深まりにつながったかという所の結論は明白ではない。その理由としては、学びの深まりまでを視野に入れての研究を行っていなかったことや、表現したことを互いに受容し合う学級経営的視点、並びに多様な思考に触れたその先までを追った研究を行っていなかったからである。昨年度の研究を継続することでさらなる学びの深まりを求めたい。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 研究の内容

ア ICT 機器を活用した学び合いや考えを高め合う授業づくり

- ・各教科において、ICT 機器の効果的な活用を工夫する。
- ・実践を公開し合い、授業力を高める。

イ 学習環境づくり

- ・学習集団づくり…学級力向上プロジェクトの活用、Q-U の活用
- ・学習習慣の確立…授業規律の徹底
- ・さわやかタイム・学習スタンバイの有効活用、家庭学習の充実

(2) 研究の方法

ア 基本的には全体会での研究を行うが、内容によってはブロック（低学年、高学年）に分かれて研究を深める。

イ 研究授業をブロックごと 1 本行う。（指導主事招聘）

ウ 一人一実践の授業公開を行う。（ブロック内で参観し合う。）

エ ICT 機器の活用に関わり、学習会を設けたり、日常的に学び合ったりする。

令和元年度 年間校内研修計画

研究主任 上野 瞳

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C要請
研究の方向性		研究主任	全体会	4月	
研究主題, 研究内容, 研究計画等の決定		研究主任	全体会	4月	
家庭学習について		研究主任	全体会	5月	
一校一実践などについて, 授業者決定		研究主任	全体会	5月	
I C T学習会		研究主任	全体会	6月	
教育課程研究協議会の還流報告		研究主任	全体会	8月	
授業案づくり		ブロック 責任者	ブロック	9月	
授業案づくり		ブロック 責任者	ブロック	10月	
授業案検討		研究主任	全体会	10月	
授業研究	英語	研究主任	5年生 を予定	10月	予定
授業研究	未定	研究主任	低学年 を予定	11月	予定
小中連携 (拡大校内研)		研究主任		11月26日	
一校一実践・研究のまとめについて		研究主任	全体会	1月	
研究のまとめ		研究主任	全体会	2月	
研究紀要の作成		研究主任	全体会	3月	